



## おじいちゃんの田んぼ

吉岡町立駒寄小学校 2年 剣持 唯翔

ぼくにとって田んぼはみみなそんざいです。なぜかというとおじいちゃんがまい年お米を作っているからです。

田うえのじきになると、ぼくはワクワクします。「田うえはいつするの。」とおじいちゃんに聞きます。学校が休みの日でないといっしょに田うえができないから心ばいなのです。

ぼくは田んぼが大すきです。りゆうは二つあります。

一つ目は、田んぼでどろあそびや虫をつかまえることやトラクターにのせてもらうことです。はじめて田んぼに入った時は長ぐつをはいていたら、足がうまりぬけなくなりました。おじいちゃんにたすけてもらわないとぬけませんでした。どろにそんな力があるなんてびっくりしました。それから、はだしであそびます。

田んぼの中にはたくさんの生きものがあります。おうちの近くでは見られないような虫がたくさんいるので、つかまえた後に図かんを見るのがたのしみになります。

トラクターにのせてもらうのもすごくたのしいです。田んぼに行くと一日中あそべるのでおじいちゃんの田んぼが大すきです。

二つ目は、おじいちゃんの作るお米がおいしいからです。田うえをしてからは「田んぼの水を見に行ってくる。」とよくおじいちゃんが言っています。お米ができるまではたいへんなことがたくさんあるんだなと思いました。

ぼくは、たきたてのごはんをおちゃわんによそったあとにしゃもじについているごはんをあじ見します。少しのりようでもごはんのあまいあじがします。おかずがなくてもすごくおいしいです。

ぼくは大きくなったら、おじいちゃんの田んぼでお米を作りたいです。だから田んぼに行けるときは、おじいちゃんについていってお米の作り方を教わりたいです。